令和7年度第1回土岐市子ども・子育て会議 会議録

■会議の日時:令和7年6月20日 10時から12時2分

■場所:土岐市役所 3階大会議室

■出席者:土岐市子ども・子育て会議委員

山田 利彦、波多野 勝則、近藤 裕美子、福富 泰岳、加藤 隆浩、小栗 潔子、
加藤 直美、中島 冴加、戸松 陽子、松崎 多恵子

欠席者:鷺見 政人、有賀 雅美

事務局 それでは定刻となりましたので始めさせていただきます。みなさま、こんにちは。本日はお忙しいところ、令和7年度第1回土岐市子ども・子育て会議にご出席いただきありがとうございます。私は、こども家庭課の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。本日、年度替わりで役職を交代され、新たに新任で委員となっていた方が3名お見えになります。新しい委員の方へは、お手元に市長からの委嘱状をお渡ししてございます。本来であれば皆様方お一人ずつにお渡しするのが本意ではございますが、時間の都合上、あらかじめお手元に置かせていただきました。ご了承ください。前委員さんの残任期間ということになりますので、何卒よろしくお願いいたします。昨年度からの委員の皆様におかれましては今年度も引き続きよろしくお願いいたします。それでは、会議に入ります前に、資料のご確認をお願いいたします。委員の皆様には事前に、A4 1枚で「令和7年度第1回土岐市子ども子育て会議」とした次第、A3の4枚とじの資料1「令和6年度土岐市子ども子育て支援事業計画の進捗状況について」、A4横 1枚で資料2「令和7年度新規事業等」、A4 1枚で資料2-1「おむつ費用を助成します」、A4 1枚で資料2-2「スマイルアップ」、A4 1枚で資料2-3「妊婦のための支援給付のご案内」、A4 1枚で資料2-4「土岐市のこども医療費助成制度を高校生年代まで拡大します」、資料3-1「公立保育園・幼稚園の認定こども園化について」、A3 1枚で資料3-2「保育所等の位置図」、A3 1枚で資料3-3「工程表」、をお配りしております。新任の方には、土岐市こども計画の冊子版もあわせて送付させていただいております。また本日お席のほうに、「土岐市子ども子育て会議委員」の名簿と座席表、第2期土岐市子ども子育て支援事業計画の概要版をお配りしております。資料のほうは皆様よろしいでしょうか？それでは、次第にそって進めさせていただきます。

1. 健康福祉部長あいさつ

事務局 はじめに、健康福祉部長の熊崎より、皆様へご挨拶申し上げます。

健康福祉部長 皆様、こんにちは。

一同 こんにちは。

健康福祉部長 本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、昨年度は、土岐市こども計画策定に関しまして、全4回におよぶ会議にご出席いただき、貴重なご意見をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。さて本市では現在、本市の今後10年間の方向性を示す第七次土岐市総合計画の策定を進めております。土岐市に関わる全ての人が幸せに暮らし続けられるよう、歴史や文化に根差した伝統を守り、市民とともに未来に向けて持続可能

なまちづくりを進めていくことを目指し、まちの将来像を「人を育み 伝統を紡ぎ いきいき暮らせる陶のまち」とした基本構想を6月議会に諮っているところでございます。まちの将来を語るうえで次代を担うこどもの存在は欠かせません。第7次総合計画においても子育て施策をしっかりと盛り込んでいきたいと考えておりますので、皆様におかれましては、引き続きご協力を賜りながら進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議でございますが、第2期土岐市子ども子育て支援事業計画の最終年度でありました令和6年度の事業報告についてご審議をいただくとともに、今年度より新たに始めることとしました新規事業等や、現在整備を進めております駄知こども園整備事業のご説明、ご報告をさせていただき予定でございます。委員の皆様方、様々な立場から、様々な視点によるご意見をいただきながら、今後の子育て支援施策の充実につなげて参りたいと考えておりますので、どうぞ忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます、開会のごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

2. 会長あいさつ

事務局 続きまして、本会議を代表いたしまして山田利彦会長、ご挨拶をお願いいたします。

山田会長 皆さんこんにちは。お忙しいところありがとうございます。少子高齢化という事で子どもの数が少なくなっている。すごい勢いで進んでいる一方で、こどもさんを預けたいというニーズが増えている。この会議は、たくさんの資料がありますが、特にご自分の関係しているところとか関心の深い項目を中心に見ていただいて、ご意見を出していただくとありがたいと思っております。またそれ以上にこどもに関する各団体の代表の方がお見えになりますので、それぞれの活動のPRとか交流を進めていただく貴重な場だと思っております。議事が済んだ後、PRや交流を深める時間を取りたいと思っておりますので心の準備をしていただくとありがたいです。

事務局 はい。ありがとうございました。条例では、会長以外に副会長も置くことが定められており、昨年は幼稚園・こども園長会の加藤千草先生に務めていただいておりますが、年度代わりで委員を交代されましたので、事務局案といたしまして、幼稚園・こども園長会の加藤直美先生にお願いするというところでよろしいでしょうか。

一同 異議なし

事務局 ありがとうございます。それでは副会長は幼稚園・こども園長会の加藤直美先生、お願いいたします。

3. 委員及び事務局自己紹介

事務局 続きまして、本日は新しい委員の方もお見えになりますので、委員のみなさんから一人ずつ、自己紹介をお願いいたします。そのあと、我々事務局も自己紹介させていただきます。委員名簿の順番でお願いしたいと思います。

順次自己紹介

事務局 それでは、議事の方へ入っていきたいと思います。ここから山田会長に進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願いいたします。

4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和6年度進捗状況

山田会長 それでは、次第4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和6年度進捗状況について 事務局から説明願います。

事務局 【第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和6年度進捗状況について説明】

山田会長 保育士不足について令和6年度はどうでしたでしょうか？

委員 保育士人材の確保に頭を痛めておりましたが、昨年度は新卒の保育士を採用でき、人材としてカバーできています。

山田会長 花園さんが小規模保育のキラリを開園されましたが、それに関わって何かありますか？

委員 土岐市駅裏徒歩2分のところで、0, 1, 2歳児定員12名ということで4月1日から募集をかけ、オープンしました。少しずつ利用者が増えていっている状況です。

山田会長 日によって利用者数は変動するわけですか。

委員 並行して一時預かり事業を行なっているので、変動します。昨年度の花園福祉会としての一時預かりの利用者数は2136人でありまして、ニーズに合わせて行っています。

山田会長 たけのこ園さんも状況はどうでしょうか。

委員 昨年度は未満児の定員がいっぱいだったので一時預かりもお受けできずお断りすることが多々ありまして、そういう場合どこに問い合わせたらいいかという事で、市役所に聞いてください、と伝えてしまっていたが、預け先を個別に探して見える方がたくさんいるのだなと思いました。個別に探しに行くのではなく、どこか一カ所でお答えできると利用者さんにとっては助かるのかなと思いました。

山田会長 事務局の方で何かありますか。

事務局 全国的に進められている誰でも通園制度がありまして、土岐市も来年度から実施する予定でございますが、この制度については、登録していただいた保護者様がご自分のスマホなどのアプリで、各園の空き状況を探せるようなシステムを構築すると国の方から聞いております。各施設において登録していただいて空き枠をインターネット上で管理していただくこととなりますが、そういったことにご協力いただければ、保護者の負担も若干減らせられるのではないかと考えております。

山田会長 ありがとうございました。

5. 令和7年度子育て支援にかかる新規事業等について

山田会長 続きまして、次第5 令和7年度子育て支援にかかる新規事業等について事務局から説明願います。

事務局 【令和7年度子育て支援にかかる新規事業等について 説明】

山田会長 はい、ありがとうございました。何か委員の方からありますか？

委員 来年入学する子がいるので、新事業の入学準備応援金はありがたい。また先日のお米券の全戸配布も他市の方から「土岐市っていいね」って言われる機会が多い。あと、親子関係支援事業に昔参加したことがあるが、こういったこともすごくありがたいなと思いました。また、子育てしているときに人としゃべる機会があまりなくて、SUPでは託児できて親同士で話すことができ、友達ができてすごくありがたかった。土岐市ではこういったことをたくさんやってくれているな、という感想です。

山田会長 体験に基づいたお話、ありがとうございました。泉西公民館でも託児付きの講座を開催しております、お母さんがたは託児付きだと安心して参加できますね。ただ託児する人の確保が不足していて、そういった問題もあるんですが、他にどうでしょうか。

委員 私も来年中学校に上がる子がいるので、この入学準備応援金は大変ありがたいのですが、これは申請が必要ですか？

事務局 プッシュ型です。児童手当を土岐市で受給されている方には自動的に市から支給させていただきますが、一部公務員の方とか、土岐市以外の自治体から児童手当を受給している方に関しましては、市からご案内をお送りしまして申請をしていただくという形にしております。

委員 県外の中学校に進学される方も対象となるということですか？

事務局 土岐市に住民票があれば、どこの中学校に通っていても関係なく支給させていただきます。

委員 学校に対する案内はしていないですか？

事務局 そうですね。記者発表などでは周知させてもらっていますが、直接学校に対しては特に予定はしていません。ホームページ等で周知していくこととなります。9月30日が基準日ですので、実際は9月頃から広報活動をしつつ年末に向けて支給していくという形で動いております。

委員 では特段PTAとしてアナウンスしたりとかはしなくて大丈夫ですか？

事務局 もし機会があればお願いいたします。

委員 新病院が出来たときに産婦人科ができると伺いました。私もそうですし、友人とかも市外で出産している人が多いんですが、今回土岐市で出産できることになって、それに対して助成など、土岐市で産むメリットなんかは何か予定されていますか？

事務局 皆が待っていた産婦人科ができる予定です。現在は病院事務組合や厚生連が医師の

確保に一生懸命取り組んでいるところで、来年2月の開院とともに産婦人科の開設に努めているところですが、今ご質問いただいた助成に関することについて特段検討は何もしていない状況です。土岐市にある病院ではありますが、瑞浪市と土岐市で構成する組合が建てている病院なので、土岐市の方だけにとという観点は難しいと思います。また、国の方も出産に対する手当金の額を上げていく見込でありますので、市独自の助成については今のところ検討していない状況です。

山田会長 よかったですでしょうか。はい、どうぞ。

委員 おむつ費用の助成について、こどもさんを持っている方にとっては本当にありがたい制度だと思うんですが、少し聞いた意見ですと、令和7年4月2日以降に生まれた1歳未満のお子さんが対象ということなんですが、4月1日以前に生まれたお子さんはもらえないということで不公平だという事を聞きました。

山田会長 制度のすき間というか、そういったものはどうしても出てくるわけですが、今のこのことについて事務局はどうですか？

事務局 この4月2日というのは学年の境目になります。学年という考え方は、小中学校の入学準備応援金とも同じですが、どこかで基準日を設けないといけないものですから、4月2日以降に生まれた方を対象とさせていただいています。確かに現にこども家庭課にもそういったお声が届いたこともありましたが、学年の分けが基準日という考え方でご理解いただきました。

山田会長 他はどうですか？

委員 こどもっていうと小学生とかもっと小さいお子さん、っていうイメージがあるんですが、中高生もこどもであるということで、今回高校生の医療費の助成とか、中学入学に関する助成金とかあり、すごくありがたいなと思います。ただ、少子化の中で手当とかの助成が、出産とか乳幼児に関わることに重きを置かれていて、中高生に対する支援が薄くなっているように感じています。特に高校生になると今までとは違った悩みなどがあったりするんですが、それに対する支援がなかなか行き届いていないな、という事が主任児童委員会の中でも話が出たりします。なかなか難しいとは思いますが、そちらの方にも目を向けていただいて何か考えていただければいいかな、と思います。

山田会長 今のこのことについて教育支援センターとしては何かありますか？

事務局 小中学校以外も支援の対象としております。中学校を卒業してほとんどの子が高校へ進学しますが、途中で退学したり通信制に変わったりするなど、中学校以後の困っているお子さんに対する相談の窓が従来までは確立されていなかったのですが、今後、教育支援センターIKT0では高校生も対象であるということを広めていけたらと思います。

事務局 従来までは、確かに高校生になると何も無いな、という感じでしたが、今回の令和7年4月からの高校生医療費無料というのはまさしく高校生に対する支援が生まれたかなと思います。また、こども基本法などでの「こども」という解釈がだいぶ変わってきておりまして、18歳とかではなく成長段階にいる人をこどもと考えるところが

ありまして、こういったことに対する施策を考えていく機会が出てくるのかなと思います。子育て世帯訪問支援事業など、ヤングケアラー関係とかについても高校生に対して目が向けられるような動きはどんどん出てきているかと思っています。この会議でも皆さんからご意見をいただくことによって新しい施策も生まれてくることと思いますので、是非貴重なご意見をいただきたいと思っております。

6. 駄知こども園建設工事の進捗について

山田会長 続きまして次第6. 駄知こども園建設工事の進捗について説明をお願いします。

事務局 【駄知こども園建設工事の進捗について 説明】

山田会長 送り迎えとか駐車場とか、雨が降っている時とかなどそのあたりの準備はどのようにしていく予定ですか？

事務局 現状駄知幼稚園とみなみこども園が駄知地区にあります。ほとんどの保護者が車両で送迎をされます。新設の駄知こども園につきましては、駐車場から園舎まで屋根を繋げることにしまして、なるべく雨に濡れないようなことに配慮しまして設計をしております。

山田会長 渋滞とか接触事故を起こしてしまうとかそういったことは大丈夫ですか？

事務局 園舎の敷地は旭ヶ丘団地の中にありまして、道路はおおむね十分な幅員がありますので問題ないかなと思っております。駄知幼稚園が出来たときは、お子さんがかなり多い時期で定員が245人なんです。今度の駄知こども園については108人の定員を予定しております。今後の少子化を見据えましてなるべくコンパクトな施設を作ることと考えておりまして、渋滞については問題ないと考えております。

山田会長 はい、ありがとうございます。

委員 私は泉こども園ができるときにいずみ保育園で園長をしております。こどもがそこで生活をしながら隣で建設していたという経験してきました。こどもが生活する場としてより良い環境や保護者の方が通わせやすい環境などを考えて、私たちも参加させていただいて検討のうえ作った園でしたので、保護者の方にも好評で良かったと思います。駄知こども園につきましても、私たちの意見を聞いていただいて計画されているので、きっと良い園になると思っております。

事務局 設計の際に現場の保育士にも入っていただきました。園長・副園長には基本設計に参加していただき、詳細設計については現場の担任の先生がたにも携わっていただき、調理室については調理員に入ってくださいなど、現場の意見を反映させる形でやっております。また最近建てた西部こども園や泉こども園の良かった点、悪かった点を踏まえまして今回の設計に活かしております。

委員 私のところではこども園を作るときに園舎を建て替えたんですが、こどもには食育が大事なので遊戯室のすぐ隣にガラス張で調理室を作りました。調理員が給食をつくる姿を園児が見てわくわくできるような設えにしました。

- 事務局 実とはきつこども園さんを参考にさせていただきまして、駄知こども園につきましても調理の現場を食育の観点から見られるようにしております。年長さんが見られるような配置にしております。
- 山田会長 ありがとうございます。良い園ができることを楽しみにしております。
- 委員 妻木幼稚園の跡地がそのままの状態になっているが、今後の利用など予定はどうなっているか教えてもらえますか。
- 事務局 端的に言うと未定です。園舎はかなり古いので、解体しなければいけないのですが、予算の都合でなかなかすぐにというわけにはいかないのが現状ですのでご理解いただきたいと思います。
- 委員 妻木幼稚園は小学校と繋がっていて、たまに小学生が入っていたりするので、例えば遊具で遊んで怪我したりする可能性もあるのでそのあたりも考慮してもらえたらと思います。
7. その他
- 山田会長 今日の議事以外でも何かございましたら。
- 委員 主任児童委員は各町に2名ないしは3名配置されています。主に児童の見守りをしており、こども園や小中学校に訪問してお話を聞いている。また近所で様子がおかしい家の情報を得て市に繋ぐ役目をしています。皆さんの地区でも気づいたことがありましたら、民生委員もしくは主任児童委員にお知らせいただけますと助かりますのでよろしくお願いします。
- 委員 私たちは安心して通える園ということを第一に考えていて、こども達によりふさわしい言葉がけができるような研修を行ったり先生たちの保育力を付けることに努めています。ただ、保育士になろうとする学生が少ないことが悩みではありますので、小学校、中学校、高校と連携しながら保育士はこんないい仕事だよって思ってもらえるような働きかけをしていきたいなと思っています。
- 委員 新病院に通じる道が建設中ですが、病院へ行く道と通学路が被っていることと、そのあたりにガードレールが無いことで、心配されている方が多くて、また、この地域は高齢者のドライバーが多いように感じるので、そういったことも考えていただけると。新病院ができた後に悲しい事故とかが起きないような取り組みをしていただけたら、できたらガードレールを付けていただけたらなと思いました。
- 委員 土岐津町の防災の会の会長を務めています。土岐津小学校で防災の授業をやらせてもらっています。南海トラフ地震が30年の間に80%の確率で起きるということで、土岐津町の皆さんにこどもを通じて防災を学んでいただくという活動しております。
- 委員 シンママ大阪応援団という団体の代表の方とお話する機会がありまして、その方も18歳を超えたらパツタリと支援が無くなるという事を言って見えて、大学とかで200人の講座で話をして、本当に困っている人は私に声をかけてくださいって言うと、必ず2, 3人は、食べるものが無いので助けてください、と言われるという話を聞いて、やっぱり、貧困、シングルマザーの対策はすごく大事ななと思います。見た目は

きれいでも実は困っているなど、本当に困っている人は隠れているっていう話を聞きました。なので、新規事業のように皆さんに配る支援も大事ですが、見えないところで困っている人たちへの対策も続けていって欲しいなと思いました。

委員

子育て世代には良い時代になったなと思います。保育料の無償化とかすごくありがたいことで金銭的にはすごく育てやすい環境になっているのだなと思います。ただその反面変わっていないのは我々保育する側の、年度当初の保育士の確保が出来ていても年度途中の確保がなかなか難しく途中で入りたくても入れない子がいるという現状。保育士不足、そもそもなり手が少ない、このあたりの養成校を卒業して保育士になりたいという子が10人程度という現状で、この10人が東濃地区に散らばって、どれだけ確保できるんだという、本当に難しい課題ではないかなと思います。中学校とかで進路指導するときに保育士はやめとけ、という先生がいるという話をききますが、それは我々保育の現場が環境を変えて悪いイメージを払拭しなければいけないというところもあると思うんですが、行政側からも保育士不足のところにメスを入れていただくためにも、小中学校にも働きかけという体制もつくっていただくと良い発信ができて確保につながるんじゃないかなと思いますのでよろしくをお願いします。

委員

新規事業が盛りだくさんでこれから子育てする家庭はありがたいなと感じられると思います。土岐市も出生数が年々減っており少子化が続くわけですが、我々こども園も保育、教育の質を上げながらこどもたちを幸せに、人間形成ができるように、少しでも地域社会に密着したこども園をすすめてまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援よろしくお願いたします。

委員

直接皆さんのお話を聞いて、知らないで過ごしてきたことが多かったんだなと思いました。こういったお話が聞いてありがたいことだなと思いました。新規事業に関しても、上の子を産んだ時に無かった制度も多くて、これから出産を控える方はありがたいだろうなと思いました。ひとつ質問ですが、おむつ券は粉ミルクとかにも使えますか？

事務局

使えません。

委員

おむつは知り合いの方からもらったりしたんですが、粉ミルクはその子に合う合わないがあって、粉ミルク代が毎月すごくかかったのがそのあたりも加味していただいて柔軟におむつ券が使えると良いのかなと思いました。あと上の子がこども園での給食がすごく楽しみで、調理員さんが作っているところが見えて、そういう環境が当たり前ではなくて恵まれた環境のなかで子育てできているなと改めて感じることができました。地域で子育てしているって感じが私自身感じていて、園を出てすぐ児童館があって公園があってという環境の中において、いろいろなお母さんたちと話せる環境にいるので、こういった環境をほかの地域でも広めていただけたらいいかなと思いました。

委員

知らない制度だったり、子育てに対して手厚いのだなと改めて感じたことがあります。なかなか周知されていない部分もあるのかな、せっかくなことをやっているのに周知されていない部分もあるので、広報だったり市民に対して案内する手法も広げていけると良いのではと感じました。各地区のPTAに助けをもらったり、すぐーるやコドモンもあるので、そういったものを活用しながらやれると、土岐市は子育て

しやすいよね、という方向に繋がっていくのではと思いました。これから出産するご家庭に対してより手厚くしていければいい土岐市になるかなと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

山田会長 大変いいご意見ありがとうございました。本日は新しい制度や事業を紹介していただきましたが、ポイントはやっぱり人材確保、あとはすき間をどう埋めていくか、周知だと思います。口コミやネット、ホームページだと思います。今後も事務局の方で知恵を出していただければと思います。

山田会長 これで議事の方は終了しましたので、事務局にお返ししますが、連絡事項等何かありましたらお願いします。

事務局 今年度の子ども・子育て会議でございますが、今回も含めて年2回程度開催したいと考えています。次回は来年2月頃の開催を考えておりますが、その間に、例えば地域型小規模保育所の新設など、委員のみなさまにご審議いただくような事案がありましたら、随時開催させていただきたいと考えております。日にちが近づきましたらご案内を送付いたしますので出席方よろしくお願いいたします。以上でございます。

山田会長 はい、ありがとうございました。それではこれで終了いたします。お疲れ様でした。